眞鍋造機株式会社

船舶用甲板機械・荷役装置のトップメーカーとして
世界の海上輸送、そして洋上風力発電を支える

想定分野　船用機器 ❯ アンカーハンドリング・トーイングウインチ／ヘビーリフトクレーン

AHTSV搭載アンカーハンドリング・トーイングウインチを国内で製造

オイル＆ガスの採掘現場においてAHTSV（Anchor Handling Tug Supply Vessel）で使用される巻上能力300tのアンカーハンドリング・トーイングウインチを製造している。機械部分を含めほぼ100%日本国内で製造しており、これまでにインド洋を中心に世界で10件以上の納入実績を持つ。**浮体式洋上風力発電の係留時に求められる巻上能力600tも視野に入れたアンカーハンドリング・トーイングウインチも製造可能な設備と技術を有する。**アフターサービスにも対応しており、世界30カ国以上で代理店とともにトラブルにも迅速に対応できる体制を構築している。

巻上能力：300t納入実績多数、600tの製造能力も保有
製造基数：船舶用各種ウィンチを年間600台以上

日本初、荷役能力500tのヘビーリフトクレーン製造

荷役能力500tを有するヘビーリフトクレーンを国内で初めて製造。重量物運搬船・多目的船に搭載するクレーンで、2019年に第1号基を完成させた。**このサイズのクレーンは日本初であることはもとより、世界でもヨーロッパの一部企業でしか製造販売をしておらず、同社がアジア初、世界で5社目となる。**今後の市場ニーズを見据えて同社が製造している荷役能力500tならびに250tのクレーンは、重量物を扱えるだけでなく、軽荷重の場合には高速での荷役が可能。それぞれの状況で有益となる高いパフォーマンス能力を発揮する。

荷役能力：500t×20m
製造台数：ばら積み船・近海船に搭載されるデッキクレーンを年間200基以上

採用実績・施工例

各種ウインチを年間600台以上を製造

顧客のニーズに最適な性能を持つ幅広いバリエーションのウインチを多数の船に納入している。年間600台以上を製造し、一般商船用を始め作業船用のアンカーウインチやSEP船用ウインチの他、特殊なウインチの実績も多数。海洋汚染に配慮した製品にも早くから取り組んでいる。

デッキクレーンを年間200基以上製造

船舶用のデッキクレーンを年間200基以上製造している。途切れないニーズは築き上げた実績と信頼の証。変化する市場ニーズやそれぞれの顧客要求に応じた仕様に確実に対応し、それぞれの特性を最大限に発揮できる品質・構造の製品を安定して製造・提供し続けている。

主要設備機械

- 大型横中ぐり盤：X軸15,000㎜ Y軸5,000㎜／1台
- 大型ターニング：φ5,000㎜まで機械加工可能／1台
- 400tジブ型クレーン：定格荷重400t／1基
- 歯切盤：φ5,000㎜まで機械加工可能／1台

会社情報

事業内容／船舶用甲板機械・一般機械装置の製造販売
所在地／〒799-2113　愛媛県今治市高部甲633-3
設立／1960年
資本金／6,000万円　従業員／255名
代表者／代表取締役社長　眞鍋 将之　TEL／0898-41-9217
事務所／東京、工場4ヶ所（愛媛・香川）
首都圏担当／東京営業所　濵田 幸輔　TEL／03-6435-2966
E-mail／eigyou_2@manabezoki.co.jp
URL／https://manabezoki.co.jp/